

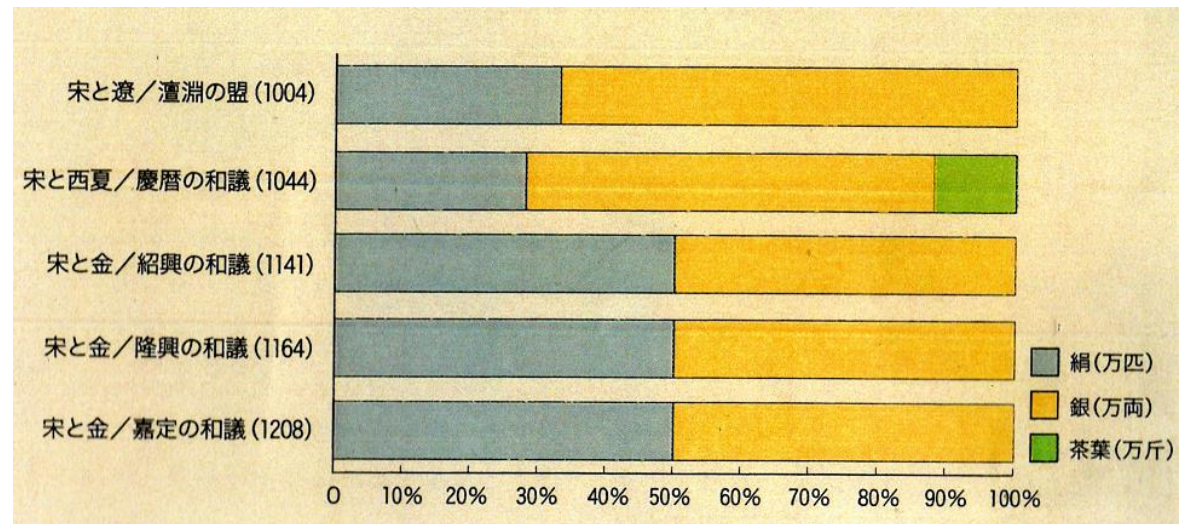
# 財貨と貢物によって得た和平

～消極的・防御的な軍事戦略～

## 5回にわたる和議の歳幣の量

和議の名称	銀(万両)	絹(万匹)	茶葉(万斤)
宋と遼/澶淵の盟 (1004)	10	20	0
宋と西夏/慶曆の和議(1044)	7.2	15.3	3
宋と金/紹興の和議(1141)	25	25	0
宋と金/隆興の和議(1164)	20	20	0
宋と金/嘉定の和議(1208)	30	30	0

## 5回にわたる歳幣の内容 (%)



宋代は、外敵からの脅威に対応するために、消極的な防御政策を採ったほかにも、「歳幣」政策をおこないました。「歳幣政策」とは宋朝が毎年和議の規約にもとづいて、遼・西夏・金などの国々に定額の財貨や貢物（金銀・絹綿・茶葉など）をおくり、それと引き換えに和平を享受するというものでした。このような講和をもとめる屈辱的な政策は、外患の問題を根本から解決することにはならず、かえって朝廷の財政負担を増やし、さらに宋朝の君臣たちに現実から目をそらすという心理を抱かせることにもなりました。